

発行者

# さんぼみち

兵庫県立総合リハビリテーションセンター  
リハビリテーション中央病院  
〒651-2181 神戸市西区曙町1070  
TEL (078) 927-2727  
FAX (078) 925-9203



## 《新任医師紹介》



本年9月からお世話になっております正木と申します。今までは脳神経外科医として約10年間高知県、香川県、和歌山県、大阪府、兵庫県で働いてきましたがこちらではリハビリテーション科として勤務させて頂くこととなりました。よろしくお願ひいたします。

リハビリテーション科 正木 康友



10月より勤務させて頂くことになりました戸田と申します。医師3年目（整形外科医としては1年目）の若輩者ですので、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかもしれませんが、よろしくお願ひします。筋トレ大好きです。

整形外科 戸田 光紀

◆ 平成19年9月1日から、外来担当医表は下記のとおりです。ご留意下さい。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	戸田 美佐	高田 俊之	戸田 美佐	阿佐美 雅子 (一時休診)	高田 雅美
	中村 知子		早川 みち子	楠 仁美	早川 みち子
	楠 仁美	加藤 順一	高田 雅美	加藤 順一	
神経内科		上野 正夫			PM 奥田 志保
	AM井上/PM上野 (一時休診)	井上 貴美子	友田 洋二	井上 貴美子	友田 洋二
循環器科 (特診)	谷崎 俊郎	金澤 成雄	谷崎 俊郎		金澤 成雄
		(血管外来)			(血管外来)
リウマチ科		高田 雅美	中村 知子		北川 篤
整形外科 (特診)	良原 久浩	瀧川 悟史	良原 久浩	高山 孝治	瀧川 悟史
	幸野 秀志	津村 暢宏	井口 哲弘	陳 隆明	津村 暢宏
	陳 隆明	1・3 金澤 慎一郎		幸野 秀志	
	井口 哲弘	北川 篤	尾崎 琢磨	司馬 良一	尾崎 琢磨
	(脊髄疾患)	(ｽﾎﾟｰﾂ疾患)	(脊髄疾患)	(四肢切断)	
泌尿器科	診察	仙石 淳	仙石 淳	手術日	検査日
	検査・処置	柳内 章宏	柳内 章宏	午後検査	柳内 章宏
リハビリテーション科					AM 中野 恭一

## 患者様からのお手紙

拝啓

茹だる暑さの中、病院長先生は、御多忙の事と存じます。ご苦勞様です。

突然の御手紙を差し上げます事を御許しく下さい。

病院に一步踏み入れれば先生・職員の皆さんが明るく、又、患者さんが何よりも明るく生き生きとリハビリ室へと行っている姿、このような素晴らしい病院に感動し失礼とは存じましたが、御礼の為一筆したしめさせて頂きました次第です。

私の夫（七十二歳）は現在の所、意識が有るのか無いのか分かりませんが、入院させていたでいます。

病室に於いては、看護師さん達の心温まる看護!!

「○○さん、おはよう!!」「○○さん食事ですよ！（書いてある内涙がでます）」他の患者さんとの変わらぬ扱い、若い人達のキビキビした動作、本当に親切丁寧にしていただいています。何よりも何よりも担当の先生に感謝の気持ち一杯です。一度ならず二度の入院迄も御世話に成り……

一度は元気で歩ける様にご指導して頂きながら二度目はほとんど意識がはっきりしないまま……

先生には大変御迷惑だったと思いますのに、心よく受け入れて下さいました。在宅の為の家族への指導の為にも、今となっては入院させて頂いて本当に良かったと思いました。

来た時には、死人の様でしたが、リハビリを受けていくにつれ、S.Tの先生には、口腔ケア、O.T・P.Tの先生方に意思表示をしない人間を身体のケアをして頂き、口の中は綺麗になり眼もイキイキしキョロキョロする様にもなり、手・足も何となく柔らかくなり、何よりも首が大変柔らかくなり、少しですが本人が左右にも動かすことが出来る様にもなりました。

重症身障者である本人及び家族の者が、この病院で最高の人間らしい真のリハビリ・看護を受けさせて頂いた事を、この先一生の思い出として、又糧として残りの人生を歩みたいと存じます。この様な気持ちにさせて頂いた一番の立役者は担当の先生です。

先生の強い希望というか、患者の為を気づかってか、在宅ケアの後押しが有りました。

尊敬し、大好きな先生の始めからの一貫した私へのアピールに私は大変心が揺れました。が、適切など指導により段々と在宅看護の自信が付いてまいりました。

“即かず、離れず、親切に”との言葉通り先生の廊下で患者さんを見ると“どうですか？”と素通りせず、一言、又、時間を見付けては室内の見廻り、本当に患者さんが、家族が先生の顔を見て声を聞いて安心する一時です。

素晴らしい先生方が多くいらっしゃる病院「兵庫県立総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院」が身体障害ならず心身障害の人達の為、益々のご発展を祈ってやみません。

長々と申し上げましたが、語り尽せない程の感謝と御礼の気持ちでいっぱいです。

乱文乱筆を御許しく下さいませ。

敬具  
一患者、家族より

お手紙ありがとうございます。私たちは患者様からの声に可能な限りお答えしようと思っております。その多くは苦情や要望ですが、このようなご声援の手紙を頂きますと、職員の方「患者さんのために」というやる気が倍増いたします。患者様の意識状態はまだまだとのことですが、在宅復帰に向けて最大限の応援をさせていただきます。

病院長 井口 哲弘

### 第2回病院の安全を考えるシンポジウムについて

7月6日に服薬の安全性向上のための院内シンポジウムが開催されました。薬や注射がみなさんに届くまでには医師 薬剤師 看護師が、安全性を高めるために多くのチェックを行っています。まず、医師が処方し、その情報が薬剤師に伝達され、調剤が行われて監査により薬剤の照合確認がされてから、薬が患者さんに届きます。薬剤部では複数の規格のある医薬品では「単位注意」のシールを医薬品棚に貼ったり、名前が似ている医薬品



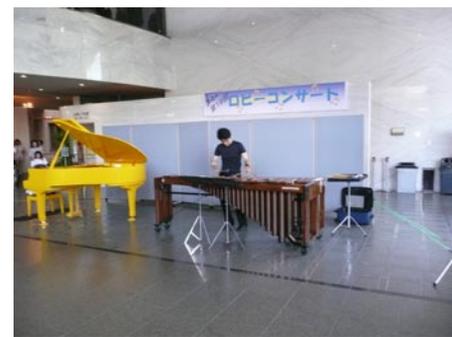
は「取扱注意」のシールを医薬品棚に貼ったりするとともに棚の配置場所を離して取り間違いを防止しています。また、調剤印を押した後も、更に自己監査を行い、棚入れ時、服薬指導時にもチェックを行って安全の確保に努めています。看護師は処方箋と薬を指差し・声だしにて照合するなど、『与薬マニュアル』を守って、与薬をすることを看護師全員で周知徹底し安全の確保に努めています。



このように厳重な安全確認が行われていますが、手順を遵守するとともにその改善を図りながら今後も全員で服薬の安全に取り組んでいきます。



### ～ 8月24日のロビーコンサートについて ～



8月24日(金)の13:30から中央病院1Fにおいて、フェニックス神戸ソングクラブ様のご協力により、夏のロビーコンサートを開催いたしました。

大勢の皆様にお越しいただいた中で、前回2月のロビーコンサートの際に素晴らしい歌声を聞かせていただいた、田中潤子さんの司会で始まりました。

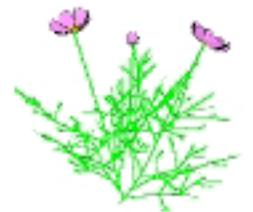
まず、ピアノの古川 知子さんのピアノ演奏。ニューヨークから戻ってこられた、マリンバ奏者である

名倉 誠人さんの演奏と続き、素晴らしい音色に皆さん歓声を上げました。そして、詩人で黄色いピアノを送る会の代表世話人でもある、喜多内十三造さんの詩の朗読と最後は皆さんと一緒に「黄色いピアノの歌」を歌い、会場はとても盛り上がりました。今後も、様々なイベントを企画しております。決定しましたら、黄色いピアノ前にある案内板や、ホームページを通じてお知らせしてまいります。



### 患者・家族様向け教室のご案内

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 生活習慣病を学ぼう会 14時～   | リウマチ教室 14時30分～ 3階談話室            |
| 10月17日 糖尿病・生活習慣病 ～合併症～<br>食事療法と生活療法                         | 10月15日 リウマチの薬<br>みんなで話そうよ！ リウマチ |
| 10月31日 糖尿病・生活習慣病 ～こんなときどうする～<br>秋です。行楽シーズン、旅行に行くときの注意。お薬は？  | 11月19日 訓練と生活動作の留意点<br>日常生活の工夫   |
| 11月14日 1) 糖尿病・生活習慣病 ～導入編～<br>糖尿病はどんな病気？治療はなぜ必要？             | 摂食・嚥下機能教室 14時～                  |
| 2) 食事療法の基礎知識  | 11月15日 嚥下食について                  |
| 12月5日 糖尿病・生活習慣病 ～合併症～<br>感染症と糖尿病 -自己管理-                     |                                 |
| 12月19日 糖尿病・生活習慣病 ～治療編～<br>食事療法と運動療法<br>-冬屋内で出来る運動療法、お正月の食事- |                                 |
| 1月16日 糖尿病・生活習慣病 ～こんなときどうする～<br>シックデイケア                      |                                 |



### 病院敷地内禁煙への協力について

近年、禁煙に対する社会的認識が高まり、公共施設等での禁煙も徹底されつつあります。2003年に施行された健康増進法において、病院など多数の方が利用する施設は受動喫煙の防止に必要な措置をとるよう義務を課しています。

また、病院はまっ先に健康を考えなければならない社会的施設であり、皆様の健康を守ることを使命としております。このような立場からも、社会的要請からも、近日中に病院敷地内を全面禁煙とさせていただく予定にしております。

患者の皆様、来院をされる皆様には趣旨をご理解のうえ、病院敷地内全面禁煙にご協力くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

これを機会に一人でも多くの方が禁煙の必要性を理解し、禁煙を始めるきっかけとしていただけないでしょうか。

